

七高SSH通信

～七尾高校理数科だより～

H27・10・30
石川県立七尾高等学校
SSH推進室
平成27年度 第8号

SSHサイエンスツアー

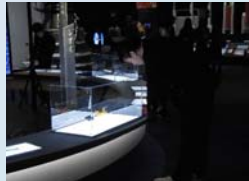
10月12日(月)～14日(水)にかけて、1年生理数科を対象にサイエンスツアーが行われました。サイエンスツアーは、先端科学の現状を理解し、科学に対する研究意欲を高めることを目的として、毎年この時期に2泊3日の日程で実施しているものです。研修は幅広い分野にわたっており、学校では学ぶことのできない分野についても多くの知識を得ることができ、どの研修もたいへん密度の濃い内容でとても充実した3日間でした。

1日目

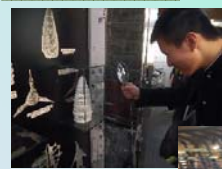
JAXA 宇宙センターと地質標本館に行ってきました。宇宙航空研究開発機構 JAXA (ジャクサ)では、宇宙開発の研究・開発の現場としての取り組みについて説明を受け、ロケットや人工衛星などの実物大のモデル、宇宙管制室など見学し、宇宙開発の現場に触れることができました。

地質標本館では、地球に関する展示として、化石や岩石の標本が展示してあります。岩石の標本には石川県産のものもありました。

筑波宇宙センター (JAXA)



地質標本館



2日目

午前中は班別グループ研修を行いました。つくば市内のKEK (高エネルギー加速器研究機構)、土木研究所、国土技術政策総合研究所、物質・材料研究機構、食と農の科学館/果樹研究所の5ヶ所にわかれ、グループ研修を行いました。午後からは埼玉県和光市にある理化学研究所で研修を行いました。理化学研究所は、日本で唯一の自然科学の総合研究所として、物理学、工学、化学、計算学、生物学、医科学などに及ぶ広い分野で研究を進めている所です。

つくば研究学園都市



KEK (高エネルギー加速器研究機構)

土木研究所

国土技術政策総合研究所



物質・材料研究機構



食と農の科学館/果樹研究所

理化学研究所



3日目

朝、東京大学本郷キャンパスを散策しました。1周するのに30分以上かかりました。そのあと、ノーベル賞を受賞された小柴先生の業績を浅井祥仁先生からお聞きし、素粒子に関する講義を受けました。浅井先生は、小柴先生の孫弟子にあたる方で、一昨年、ヒッグス粒子の発見で注目を浴びた方です。浅井先生は難しい話をていねいに説明してくださいました。

浅井先生の講義の後は、東大の生協の食堂で昼食を取り、七尾へ新幹線を使って帰ってきました。



生徒の感想

○東大の浅井先生から聞いた世界最大の加速器がほとんど光速の速度まで加速できるのには驚きました。

○各施設で学んだこともとても大きな経験となりましたが、私の中でレポート作成が一番自分の力になったと思います。

○普段何気なく見ている物が何十年の研究の成果なのだと思うと、私たちのこれからの努力でより便利な社会を作れるのだという気がした。

○今回の研修で、自分の知識を広げることができたと思うし、同時に科学に対する興味が高まったと思う。

○日本で今、行われている研究がこれから先、世界に革新をもたらすようなものだと思って誇らしい気持ちになった。